

# 平成22年度e・アンケートモニター 第1回アンケート調査結果

## テーマ「食の安心・安全の推進に向けた取組について」

### I 調査の概要

#### 1 調査のテーマ及び目的

テーマ:「食の安心・安全の推進に向けた取組について」(生活衛生課)

食品表示偽装事件や輸入食品による健康被害、農産物の残留農薬の問題など、食品の安全性や信頼性が脅かされる事件が相次いで発生しています。

県では、こうした事態に対処し、食の安心・安全に向けた取組の一層の推進を図るため、平成20年度に「山口県食の安心・安全推進条例」を制定しました。

また、条例に基づく食の安心・安全に関する施策を総合的・計画的に推進するため、平成21年度に「山口県食の安心・安全推進基本計画」を策定したところであり、今後、計画に定める具体的な取組の推進に当たっての参考とします。

#### 2 調査実施期間

平成22年7月24日～8月6日

#### 3 調査対象

平成22年度e・アンケートモニター:167人

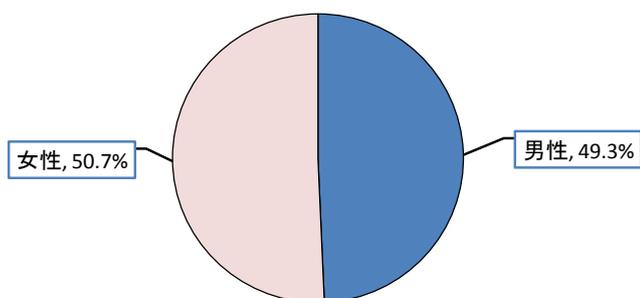
#### 4 回答状況

回答者:134人(80.2%)

### II 回答者の属性

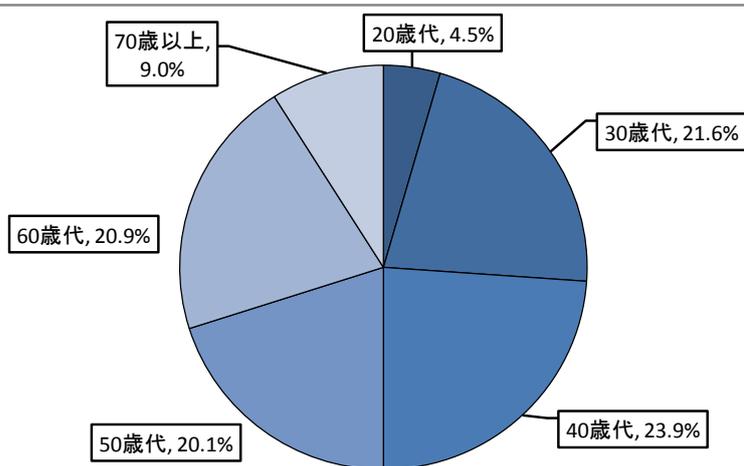
#### ■ 性別

区分	人数	%
男性	66	49.3%
女性	68	50.7%
計	134	100.0%



#### ■ 年代別

区分	人数	%
20歳代	6	4.5%
30歳代	29	21.6%
40歳代	32	23.9%
50歳代	27	20.1%
60歳代	28	20.9%
70歳以上	12	9.0%
計	134	100.0%



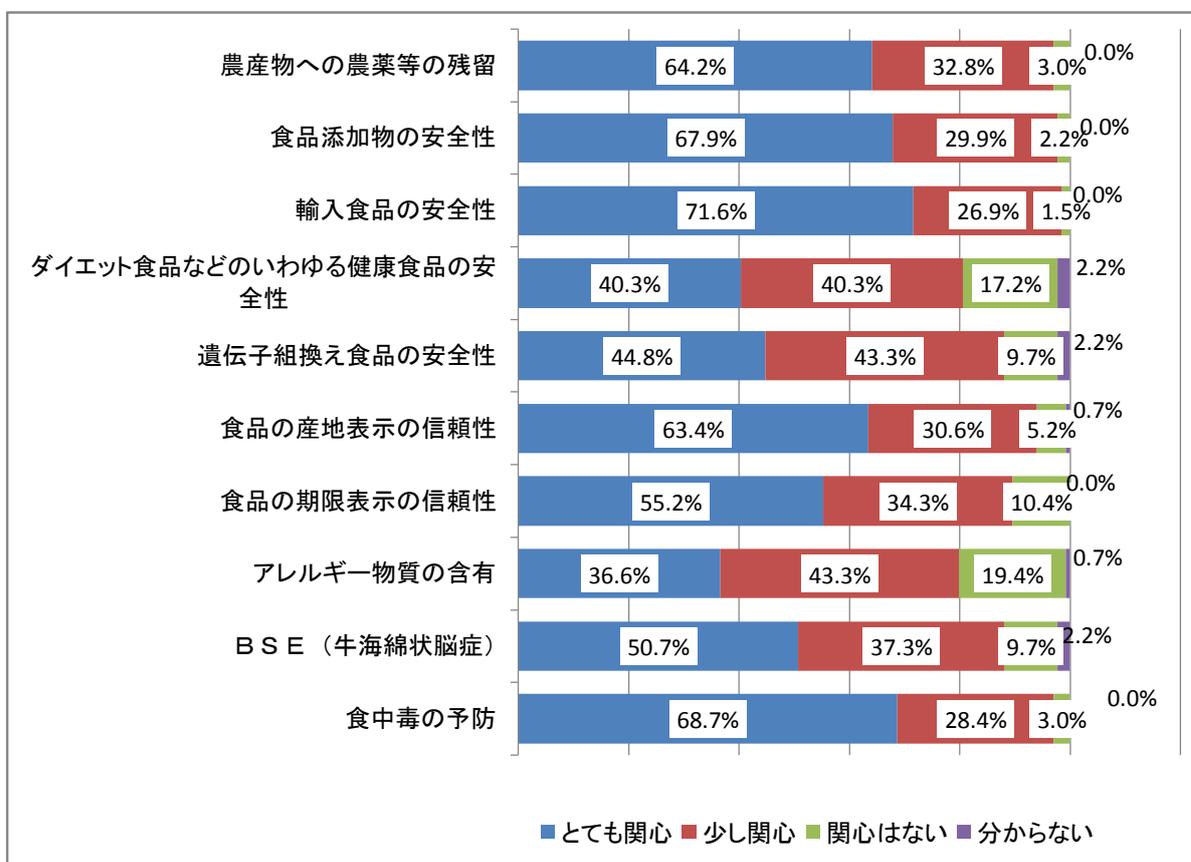
「回答者の属性」、「調査結果」の各表及び各グラフ中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合がある。

### Ⅲ 調査結果

#### 【食への関心】

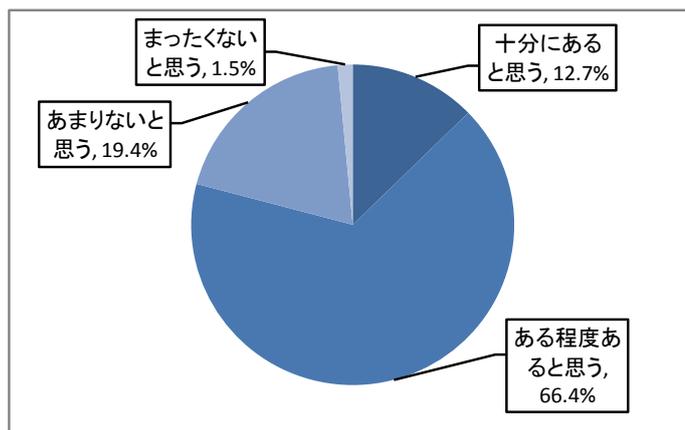
Q1 あなたは、食品について、どのようなことに関心をお持ちですか。(それぞれ1つずつ)

選択肢	人数				%			
	とても 関心が ある	少し 関心が ある	関心は ない	分から ない	とても 関心が ある	少し 関心が ある	関心は ない	分から ない
農産物への農薬等の残留	86	44	4	0	64.2%	32.8%	3.0%	0.0%
食品添加物の安全性	91	40	3	0	67.9%	29.9%	2.2%	0.0%
輸入食品の安全性	96	36	2	0	71.6%	26.9%	1.5%	0.0%
ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	54	54	23	3	40.3%	40.3%	17.2%	2.2%
遺伝子組換え食品の安全性	60	58	13	3	44.8%	43.3%	9.7%	2.2%
食品の産地表示の信頼性	85	41	7	1	63.4%	30.6%	5.2%	0.7%
食品の期限表示の信頼性	74	46	14	0	55.2%	34.3%	10.4%	0.0%
アレルギー物質の含有	49	58	26	1	36.6%	43.3%	19.4%	0.7%
BSE(牛海綿状脳症)	68	50	13	3	50.7%	37.3%	9.7%	2.2%
食中毒の予防	92	38	4	0	68.7%	28.4%	3.0%	0.0%



Q2 あなたは、食の安心・安全に関する知識について、どの程度あると思いますか。(1つのみ)

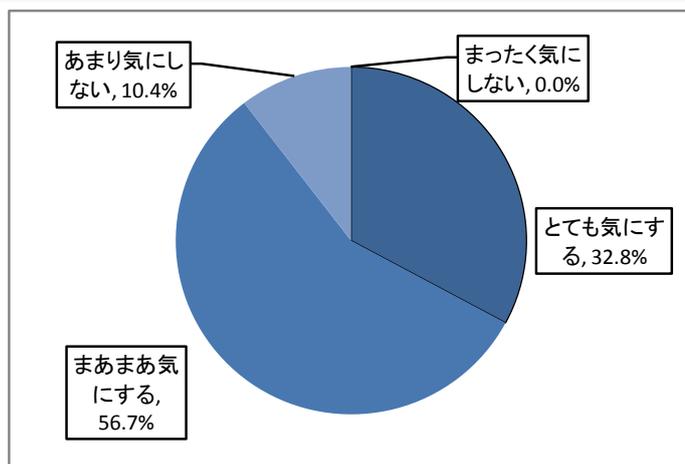
選択肢	人数	%
十分にあると思う	17	12.7%
ある程度あると思う	89	66.4%
あまりないと思う	26	19.4%
まったくないと思う	2	1.5%



【食品表示】

Q3 あなたは、食品を購入する際、食品に記載されている表示をどの程度意識していますか。(1つのみ)

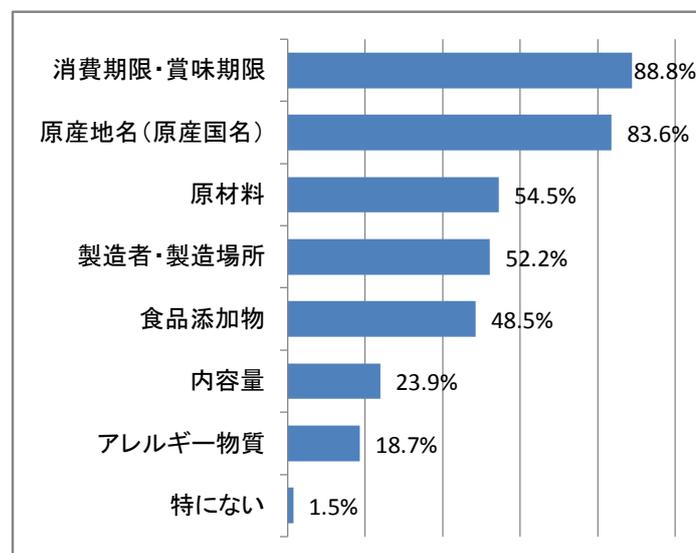
選択肢	人数	%
とても気にする	44	32.8%
まあまあ気にする	76	56.7%
あまり気にしない	14	10.4%
まったく気にしない	0	0.0%



Q4 あなたは、食品を購入する際、意識する食品表示の項目はなんですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
消費期限・賞味期限	119	88.8%
原産地名(原産国名)	112	83.6%
原材料	73	54.5%
製造者・製造場所	70	52.2%
食品添加物	65	48.5%
内容量	32	23.9%
アレルギー物質	25	18.7%
特にない	2	1.5%

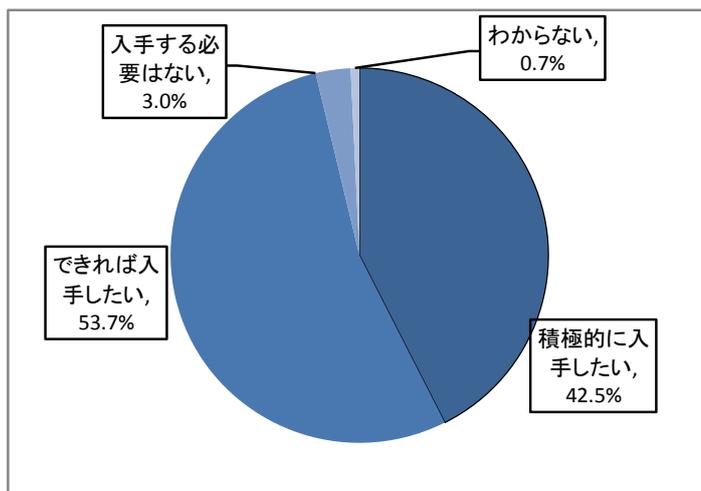
(複数回答)



## 【食の安心・安全に関する情報と入手方法】

Q5 食の安心・安全に関する情報を入手したいと思いますか。(1つのみ)

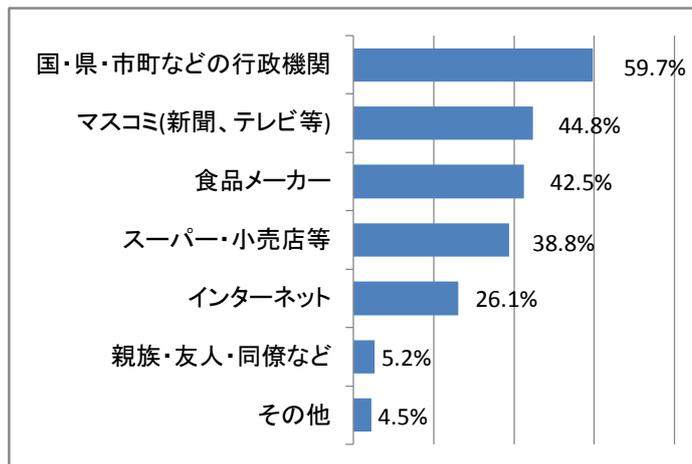
選択肢	人数	%
積極的に入手したい	57	42.5%
できれば入手したい	72	53.7%
入手する必要はない	4	3.0%
わからない	1	0.7%



Q6 あなたは、食に関する情報をどこから入手することができればいいと思いますか。(2つまで)

選択肢	人数	%
国・県・市町などの行政機関	80	59.7%
マスコミ(新聞、テレビ等)	60	44.8%
食品メーカー	57	42.5%
スーパー・小売店等	52	38.8%
インターネット	35	26.1%
親族・友人・同僚など	7	5.2%
その他	6	4.5%

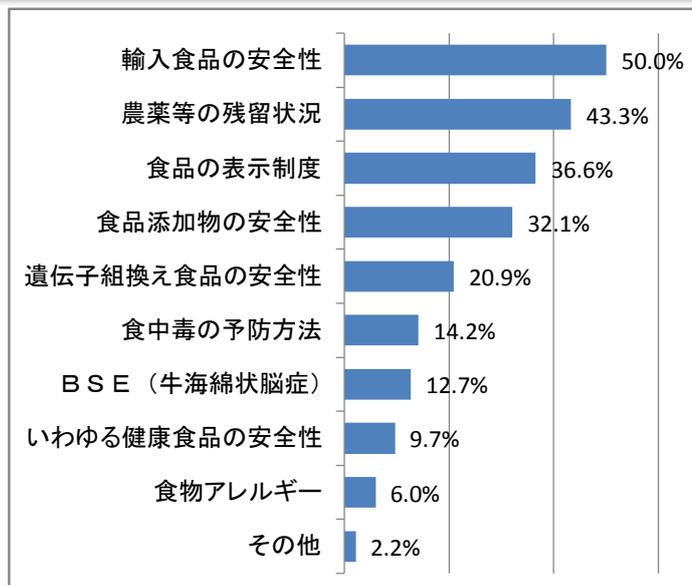
(複数回答)



Q7 あなたは、食の安心・安全に関するどのような情報を入手したいですか。(2つまで)

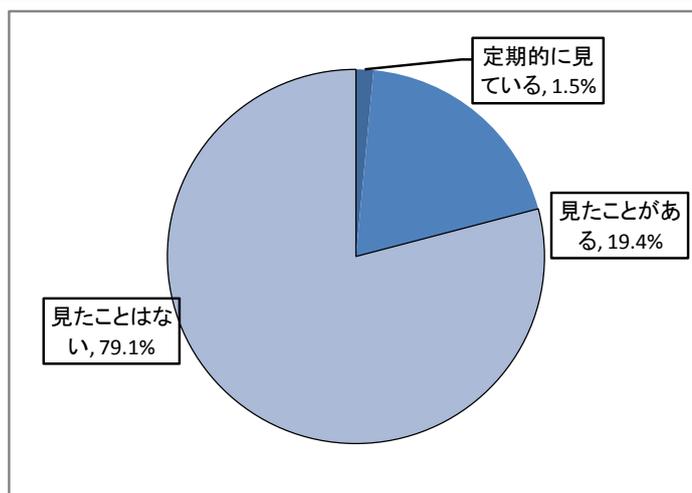
選択肢	人数	%
輸入食品の安全性	67	50.0%
農産物への農薬等の残留状況	58	43.3%
食品の表示制度(食品表示の意味)	49	36.6%
食品添加物の安全性	43	32.1%
遺伝子組換え食品の安全性	28	20.9%
食中毒の予防方法	19	14.2%
BSE(牛海綿状脳症)	17	12.7%
ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	13	9.7%
食物アレルギーに関する情報	8	6.0%
その他	3	2.2%

(複数回答)



Q8 あなたは、食の安心・安全に関する県の取組を紹介している「山口県食の安心総合情報ホームページ」をご覧になったことがありますか。(1つのみ)

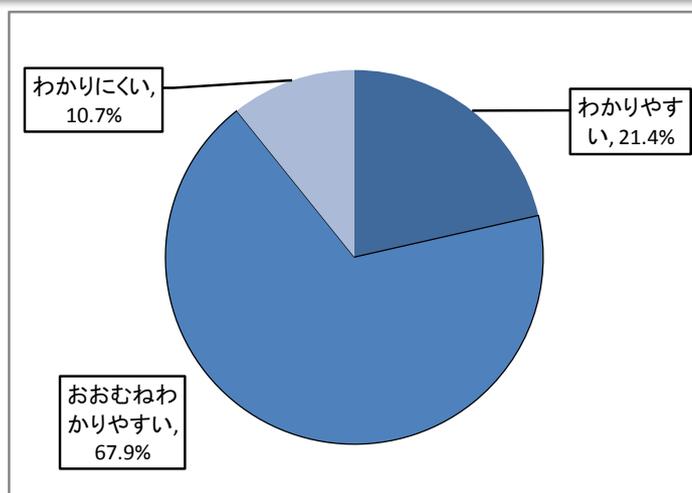
選択肢	人数	%
定期的に見ている	2	1.5%
見たことがある	26	19.4%
見たことはない	106	79.1%



Q8で、「定期的に見ている」「見たことがある」と回答された方

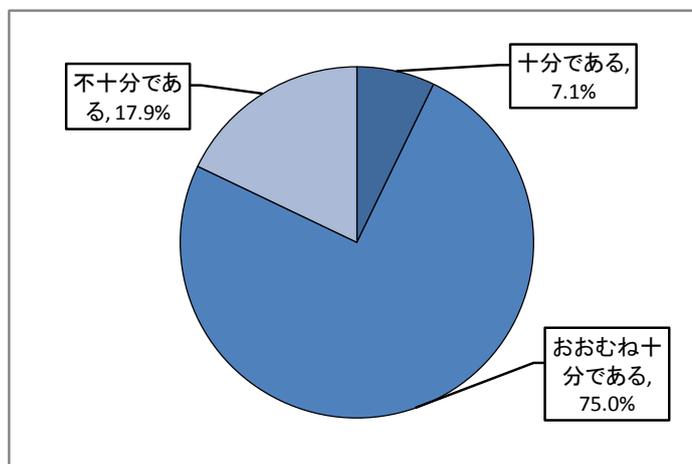
Q9 掲載している内容について、お伺いします。「分かりやすさ」はどうですか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
わかりやすい	6	21.4%
おおむねわかりやすい	19	67.9%
わかりにくい	3	10.7%



Q10 掲載している内容について、お伺いします。「情報量」はどうですか。(1つのみ)

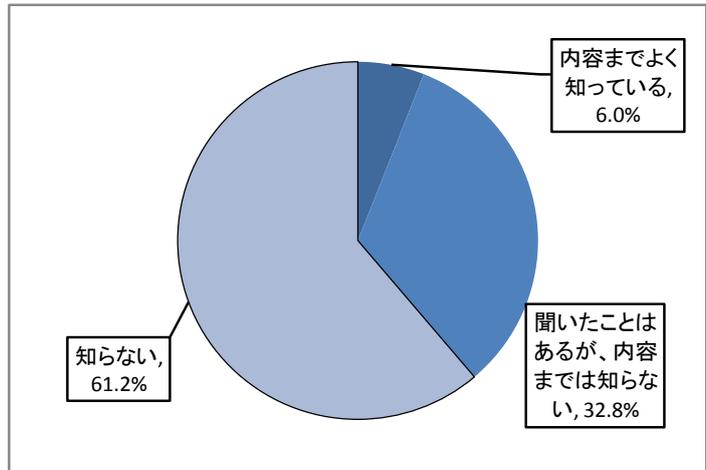
選択肢	人数	%
十分である	2	7.1%
おおむね十分である	21	75.0%
不十分である	5	17.9%



【山口県食の安心・安全推進条例等】

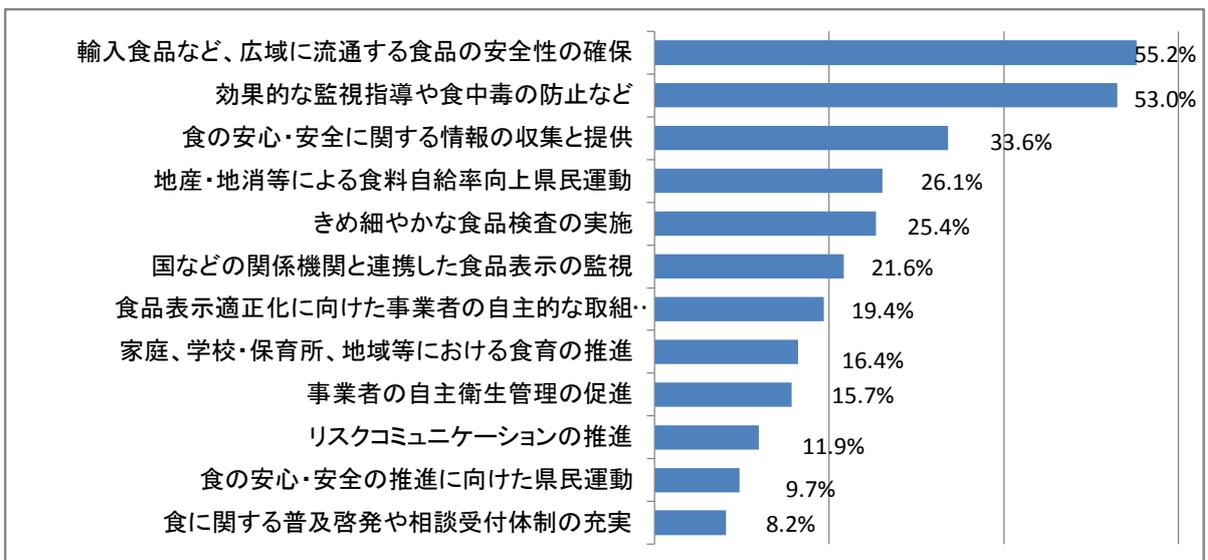
Q11 あなたは、平成21年4月、「山口県食の安心・安全推進条例」が施行されたことをご存知ですか。  
(1つのみ)

選択肢	人数	%
内容までよく知っている	8	6.0%
聞いたことはあるが、内容までは知らない	44	32.8%
知らない	82	61.2%



Q12 県では、「山口県食の安心・安全推進基本計画」に基づき、以下の取組を進めています。あなたが期待する取組は、次のうちどれですか。(3つまで)

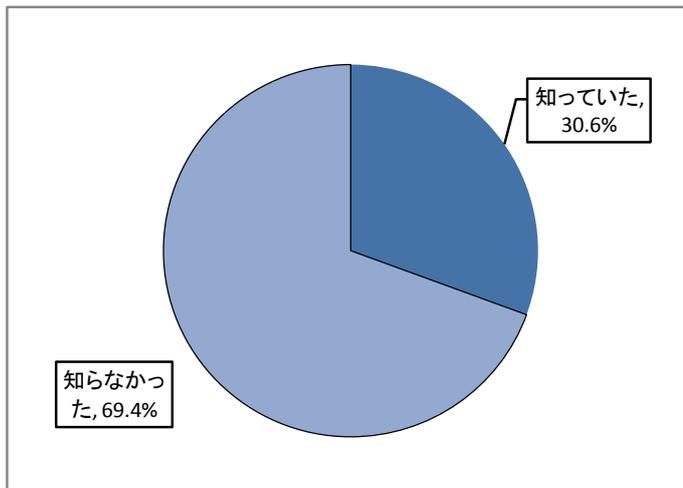
選 択 肢	人数	%
輸入食品など、広域に流通する食品の安全性の確保	74	55.2%
効果的な監視指導や食中毒の防止など、食品の生産、製造・加工、流通过程での安全性の確保	71	53.0%
食の安心・安全に関する情報の収集と迅速かつ的確な提供	45	33.6%
地産・地消の取組等による食料自給率向上県民運動の推進	35	26.1%
社会情勢の変化や事件・事故に適切に対応するための、きめ細やかな食品検査の実施	34	25.4%
国などの関係機関と連携した食品表示の監視	29	21.6%
食品表示適正化に向けた事業者の自主的な取組の促進	26	19.4%
家庭、学校・保育所、地域等における食育の推進	22	16.4%
食品衛生管理の高度化や自主回収報告の徹底など、事業者の自主衛生管理の促進	21	15.7%
生産者・事業者と消費者との相互理解の促進に向けたリスクコミュニケーションの推進	16	11.9%
地域社会全体での食の安心・安全対策の推進に向けた県民運動の展開	13	9.7%
食に関する正しい知識の普及啓発や相談受付体制の充実	11	8.2%



【BSE(牛海綿状脳症)】

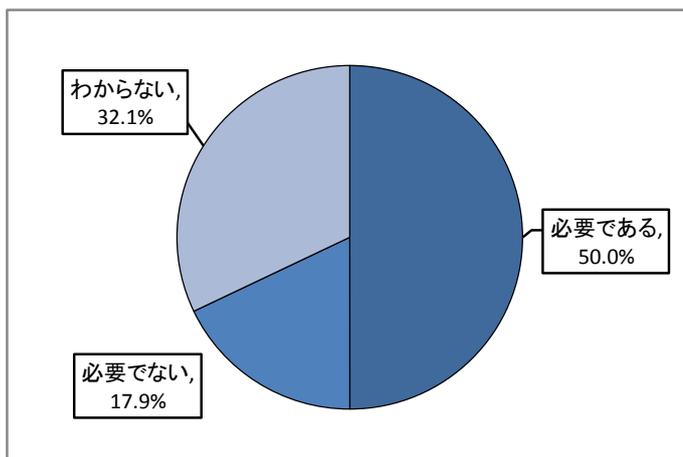
Q13 平成20年8月から、山口県が県単独の費用負担で20ヶ月齢以下の牛のBSE検査を実施していることを知っていましたか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
知っていた	41	30.6%
知らなかった	93	69.4%



Q14 国は20ヶ月齢以下の牛のBSE検査は必要ないとしています。山口県において、県の費用負担により、20ヶ月齢以下の牛のBSE検査を継続する必要があると思いますか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
必要である	67	50.0%
必要でない	24	17.9%
わからない	43	32.1%

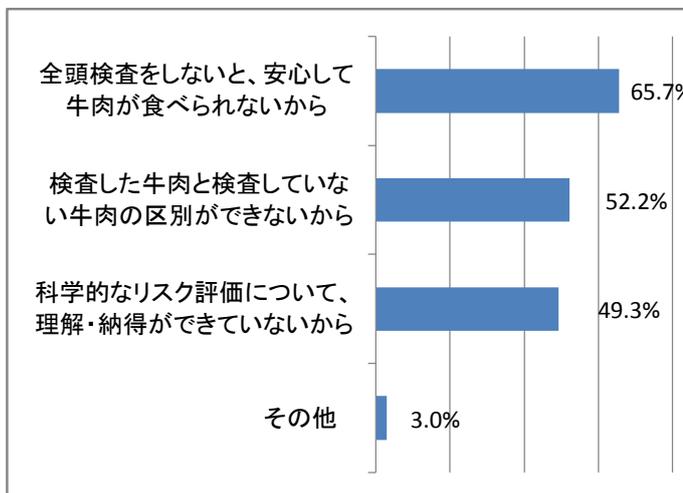


Q14で「必要である」と回答された方へ

Q15 「必要である」と回答した理由は何ですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
全頭検査をしないと、安心して牛肉が食べられないから	44	65.7%
検査した牛肉と検査していない牛肉の区別ができない	35	52.2%
科学的なリスク評価について、理解・納得ができていないから	33	49.3%
その他	2	3.0%

(複数回答)



Q14で「必要でない」と回答された方へ

Q16 「必要でない」と回答した理由は何ですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
科学的にリスクは低いと評価されているから	16	66.7%
20ヶ月齢以下の牛は、国が検査しなくてもよいとしているから	11	45.8%
全頭検査は無駄だと思うから	10	41.7%
国際的には、全頭検査をしなくてもよいとされているから	7	29.2%
特に不安はないから	6	25.0%
その他	2	8.3%

(複数回答)

